

加盟人数 98人

代表者 会長 増田 英雄

創立年 昭和50年6月

磐田バドミントン協会

磐田バドミントン協会は、磐田市体育協会に昭和50年6月に18番目の専門部として加盟が承認されました。

バドミンントンの歴史は、諸説ありますが有力とされている説は、西暦1820年代にインドのプーナで行われていた「プーナ」という皮でできた球をネット越しに打ちあう遊びを、当時イギリスの植民地であったインドから帰ってきたイギリス人兵士が1873年に本国に伝えたのが始まりとされています。プーナを紹介するためにシャンパンの栓（コック）に鳥の羽根を刺したものをういてテニスラケットで打ち合っせて見せた場所がイギリスのグロスターシアのバドミントン荘という邸宅であったためバドミンントンの名称がつけました。

近年のバドミンントンは、1988年のソウルオリンピックの公開競技を経て、1992年のバルセロナオリンピックより正式種目として採用されています。

北京オリンピックの「スエ・マエ」「オグ・シオ」の女子ダブルスの活躍からこれまでにないバドミンントンの人気を博しています。最近の日本人トップレベルにランキングされているプレイヤーは、世界ランキングにも上位に顔を連ねています。世界で活躍するトッププレイヤーの影響で競技者としてのバドミンントンプレイヤーは、確実に増加しています。一般の方でも興味を持ってバドミンントンに取り組む事は、底辺の拡大として大変重要なことです。

磐田市の現状として、磐田市内の高等学校には部活としてのバドミンントン部があります。しかし、競技として始める年齢が高校生になってからのプレイヤーが殆どなのが現状です。現在では、ジュニアから育成していかなければ、なかなか日本でもトッププレイヤーとして活躍できないのが現状です。

磐田バドミンントン協会では、競技としてバドミンントンを始める“きっかけ”作りとして毎年「初心者バドミンントン教室」を実施しています。大勢の参加者がありますが継続して競技としてのバドミンントンをされる方が多くは現れません。参加者の多くは、社会人の方が多く健康の維持・増進のため体を動かしてみたいという目的の方が大半です。初心者バドミンントン教室を卒業された方で、市内のバドミンント

ン競技の団体に加盟して継続してプレーをされている方も大勢います。生涯スポーツとしては、大変立派なことであると考えます。今後も「初心者バドミンントン教室」を実施して競技者としてのプレイヤーの発掘と生涯スポーツとしての底辺拡大と普及を図ります。

競技として参加者を募り「磐田市民バドミンントン大会」を毎年実施しています。競技としてのバドミンントン経験者が増加しているため参加者も確実に増加しており、競技レベルの向上もしております。生涯スポーツとして継続している年配者もいるため参加者の年齢も上がってきています。

今後は、磐田市から日本のトッププレイヤーが輩出できるような環境作りをしていきたいと思ひます。

磐田市民バドミンントン大会成績

平成29年3月

男子ダブルス

- 第1位 渡邊・山岸
- 第2位 浅川・宍井
- 第3位 馬場園・高木
- ク 山田・松永

女子ダブルス

- 第1位 鈴木・村上
- 第2位 島田・佐野
- 第3位 大庭・木下
- ク 藤森・浅見

男子シングルス

- 第1位 鈴木
- 第2位 串山
- 第3位 松永
- ク 浅川

女子シングルス

- 第1位 村上
- 第2位 鈴木
- 第3位 大庭

平成30年3月

男子ダブルス

第1位 高橋・井上

第2位 金原・浅川

第3位 渡邊・山岸

◇ 松岡・重本

女子ダブルス

第1位 亀山・村上

第2位 島田・増田

第3位 中尾・中村

男子シングルス

第1位 松永

第2位 金原

第3位 浅川

◇ 上村

女子シングルス

第1位 亀山

第2位 浅見

第3位 野島



大会風景